

## 献 辞

岩崎稜先生は、平成六年八月二二日、ご自宅にて急逝されました。まだ、六二才の若さであり、しかもわずか二年余りの在職となり、本法学部にとってもまことに痛恨の極みであります。

岩崎先生は、大阪市立大学に二六年間在職になり、その間、学生部長・法学部長・評議員などの要職を歴任され、平成四年四月、本法学部教授としてご着任になり、商法・国際取引法の講義を担当されました。学問的には、保険法を中心としながらも商法・国際取引法の全般にわたって顕著な業績をあげられ、日本保険学会の理事を逝去時まで長期間お務めになるなど学外の要職も歴任されました。教授会でも当初から積極的に発言されるなど、本法学部の運営にも重要な役割を果たされました。ご性格はまことに豪放磊落であり、いつも笑みを浮かべながら穏やかにお話になるなど、同僚からも親しみを受けてこられました。私事になりますが、ちょうど夏休み前の教授会でたまたま隣席された先生と少しばかりお話をしたのが最後の別れになってしまいました。もはや、直接にご指導をいただく機会を失ったことは、痛惜の思いがいたします。

岩崎先生の本法学部へのご貢献に感謝して、またそのご活躍を偲び、ご霊前にこの追悼号を捧げ、ご冥福をお祈りいたします。

一九九六年二月

法学部長 乙部 哲郎